

私流

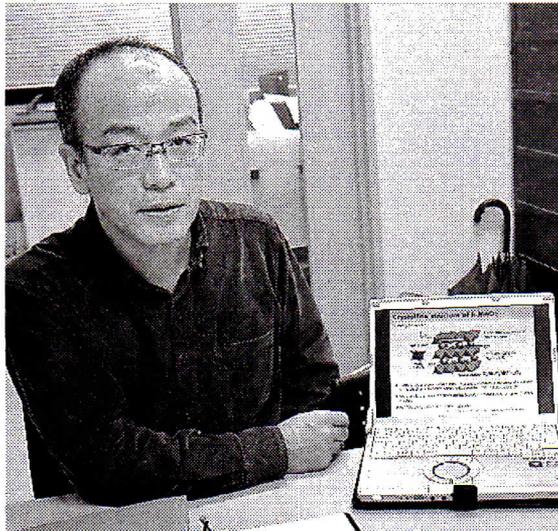
代表

代表



阿東町の船方地区にある50畝の町有地を借り、69年に「船方総合農場」を設立した。シクラメン栽培と酪農が柱。石ころだらけの草地に、風が吹

ヨウ化物イオンの回収法を開発した山口大の中
山雅晴教授 宇部市の山口大常盤キャンパス



原発汚染水処理に応用可

山口大大学院理工学研究科の中山雅晴教授らの研究グループが、薄い膜に加工したマンガン酸化物を使い、ヨウ素を効率よく除去できる技術を開発した。福島第一原発事故の汚染水処理では、水に溶け込んだ放射性ヨウ素の除去が課題となっているが、これにも応用できる技術とされる。

ヨウ素は海藻などに含まれ、ヨードチンキなど薬としても使われる。自然界のヨウ素のほとんどは放射性物質ではないが、原子炉内でのウランの核分裂では放射性ヨウ素ができる。チェルノブイリ原発事故では放射性ヨウ素が大量に放出され、人の甲状腺がんが多発

するなどの大きな被害が出た。

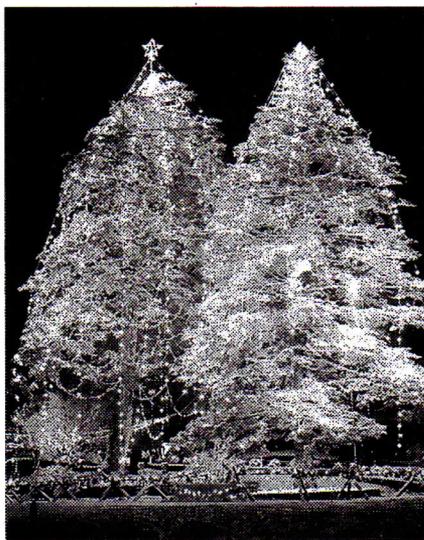
中山教授は2010年、マンガン酸化物を薄い膜に加工する製法で特許を取得した。一方、ドイツの学者が、界面活性剤の一種がヨウ化物イオンの除去に役立つことを発見している。

中山教授らは、この界面活性剤をマンガン酸化物の膜の間に挟み込んだフィルムのような物を作った。これを使い、ヨウ化ナトリウム溶液からヨウ化物イオンを除去する実験をしたところ、別の方法に比べて効率よく回収できたという。

中山教授らはこうした研究成果を日本分析化学会が発行する英字誌に発表し、

特許を出願した。

ただ、汚染水処理に使うには、放射線への耐性など



過去のクリスマスナイトフェスティバルの様子＝山口市阿東地福上、山口商工会議所提供

の技術的な課題があるという。中山教授は「マンガンは安価なうえ、環境への負荷が小さい。マンガンを使った技術であることは、原発事故の汚染水処理といった環境技術に活用するうえで利点だ」と話している。

します。午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)。団体館。一般1200円、70歳以上・学生千円など。

効率よくヨウ素除去

山口大

中山教授ら技術開発

やまぐちの焼

スクラップ

三輪壽雪(1910～2012)が見渡そうとしたのは、どのような日本陶磁の美質だったのか。

市販のフォトアルバムに整理された作品図版のスクラップが残されている。それらは、雑誌などの出版物から切り抜かれた印刷図版で、「茶入糸切」、「花入、像」と記した題簽が並んで貼られた1冊、「壺」と「鉢」という題簽がそれぞれ残った2冊、そして表紙から題簽が剥がれ落ちてしまった1冊にまとめられていた。この題簽のないフォトアルバムは水指の図版スクラップではほぼ埋め尽くされているが、茶碗という器種でまとめられたものはない。

ところで、これらは日本陶磁の名品ばかりを集めたものではない。本阿弥光悦の「舟橋蒔絵硯箱」や尾形光琳「八橋蒔絵螺鈿硯箱」といった国宝をはじめとする漆芸や、石灯籠や井戸囲いといった石造物など、陶磁器以外の日本の工芸が収められているほか、古代中国の玉器や青銅器からランプシェードや石鹼容器といった現代のインダストリアルデザインに

日本のクリスマス発祥の地とされる山口市で、今年も12月1日から31日まで「12月、山口市はクリスマス市になる。」をテーマに約30のイベントが繰り広げられる。

1日午後5時からは、亀山町の山口サビエル記念聖堂でオープニングを祝う催しがある。ゴスペルシンガーの第一人者・亀淵友香さんやシンガー・ソングライター陣の大蔵さんが賛美歌を披露するほか、100人以上の子供たちが大合唱する。また、クリスマス市

が設けられ、雑貨や菓子を販売する。

日本航空は31日まで羽田―山口市部便を「山口クリスマス便」と名付け、通常よりも割安の席を用意する。21日はJR新山口駅から地福駅までSLクリスマス号が走る。市内を走る防長交通の一部路線バスでは土・日曜日に限り運転士がサンタクロースの姿になる。

他のイベントは表の通り。問い合わせは実行委員会(0833・925・2300)まで。(峯俊一平)

オンラインショップ
朝日イベントプラス
イベントプラス 検索

話題の展示会のカタログや公式グッズから、高校野球に名画のDVDまで約300点

確かな情報をネット
Astana

及ぶ羅漢たちの営みを手まで東京・増上寺に秘された「五百羅漢図」全日本で初めて一挙公開